

# 議会だより

みなみふらの



## 第4回定例会概要

2 P

## 一般質問

3 P

## 町長の行政報告

4~5 P

## 教育長の教育行政報告

5~6 P

## 委員会レポート

7~9 P

## 議会の動き

10 P

# 平成30年第4回定例議会

平成30年12月12日～14日

平成30年第4回町議会定例会は、12月12日招集され、会期を12日から14日までの3日間と決めた後、議会運営委員会及び総務常任委員会、総合交通体系等調査特別委員会報告、議員派遣報告があり、1議員による一般質問が行われました。（質問の内容と答弁の要旨は3ページに掲載）その後、第3回定例会で決算審査特別委員会に付託された平成29年度各会計歳入歳出決算の認定について、委員長より審査意見を付して認定する旨の報告があり、報告のとおり認定しました。引き続き、条例の改正3件について審議し、原案通り可決しました。その後、一般会計及び5特別会計補正予算の計6件を総務常任委員会に付託し、第1日目を終了しました。

第3日目の12月14日は、総務常任委員会に付託された6件について、委員長から「原案を可とする」報告がなされ、「報告のとおり可決し、全ての日程を終え定例町議会を終了しました。

## 一般会計補正予算の主なもの

### ・ 庁舎燃料費

112万円

### ・ 施用備品(パソコン)購入費

88万円

### ・ 老人福祉施設保護措置費助成金

301万円

### ・ 移送サービス利用助成費

209万円

### ・ 地域センター病院産婦人科医師確保対策負担金

127万円

### ・ 公立学校共済組合負担金

117万円

### ・ 高等学校燃料費

94万円

## 条例の一部改正

### ○議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例

### ○南富良野町長等の給与に関する条例

議会議員及び特別職の6月と12月に支給する期末手当の支給率を合わせて100分の5月引き上げる改正です。

### ○南富良野町職員の給与に関する条例

人事院勧告に基づき、俸給

表の水準と期末手当の支給率を引き上げる改正です。

平成30年度各会計補正予算	補 正 額	補 正 後
一般会計	1668万円	39億9975万円
国民健康保険事業特別会計	1534万円	3億5034万円
後期高齢者医療事業特別会計	—	4283万円
介護保険特別会計	2280万円	2億8628万円
簡易水道事業特別会計	△ 47万円	2億3395万円
公共下水道事業特別会計	42万円	1億2835万円
合 计	5477万円	50億4150万円



平成30年第3回定例会で決算審査特別委員会に付託された平成29年度各会計歳入歳出決算の認定は、委員会審査の結果、認定すべきと定例会において委員長から報告があり、報告のとおり認定しました。

## 決算審査特別委員会

平成30年第3回定例会において、本特別委員会に付託された、認定第1号平成29年度南富良野町各会計歳入歳出決算の認定について、平成30年11月14日、15日、16日の3日間審査した結果について報告いたします。

**審査にあたつて**  
 歳入財源の確保と歳出経費の執行状況とその効果、特に災害復旧事業に伴う実施状況や翌年度への事業繰越しに伴う内容の精査など、また過去に本特別委員会が付した意見が予算編成及び執行にあたり、どのように反映されたのかを主眼に審査した結果、認定すべきと決しました。

**審査意見**  
 ◆歳入について  
 町民負担の公平性からも、今後も引き続き納税意識の喚起に努め、滞納の未然防止や回収の強化など更なる工夫と努力が必要と判断します。今後とも財政状況は厳しさを増すことが予想されることから事業執行にあたつては補助金等の特定財源の確保に積極的に取り組まれたい。

決算審査特別委員会	
委員長	大道 重治
副委員長	鹿野 重博
委員員員	阿部 修一
委員員員	小出 直由
委員員員	酒井 年夫
委員員員	強

## 問 臨時職員等の任用に対する今後の対応は

## 答 31年秋をめどに方針示す

### 一般質問（要旨） 阿部 修一 議員

#### ①町の臨時・非常勤職員の任用について



阿部 地方公務員法の改正に伴い、平成32年4月より臨時・非常勤職員の任用が「会計年度任用職員」として任用されることとなるが、今までの雇用中断を不適切とし、法に沿った雇用を求めており、改正法の施行までには、臨時・非常勤職員の実態把握や、会計年度任用職員の任用や勤務条件等の検討、職員団体との協議を経て、これらの任用や勤務条件等を確定することとなっているが、本町の臨時・非常勤職員の任用に対する今後の対応について伺う。

### 議会を傍聴してみませんか

議会の活性化のために、多くの町民の皆さんのが傍聴をお待ちしています。

○3月の定例会開催日○  
3月6日から15日まで（予定）

推進委員など、合わせて100名を超える方が対象となり、制度の導入に向け任用実態の把握を行い、年度内に關係する条例や規則等への影響調査及び改正や新規制定の必要がある条例等の洗い出しを進めている。次年度はこれらを踏まえ、法改正の趣旨に添い、条例等の改正案や新規制度案の策定作業を進めていき、労働団体との協議を経て、会計年度任用職員及び臨時的任用職員に対する給与、報酬、手当及び休暇等について、来年秋をめどに方針を示したい。

①各種団体に対する財政援助については、活動内容や事業の実態を検証し、効率的かつ効果的に事業執行されているか見直しも含めて判断する必要があります。

# 町長の 行政報告



この時代の移り変わりの中でも、本町の発展と住民福祉の向上に多大なるご尽力を賜つて頂いたところであります。本町の120年余りの歴史と伝統文化を受け継ぎ、守り、支えてくださつております全ての町民の皆様のご努力とご労苦に対しましても併せて敬意を表し、衷心より感謝を申し上げたところであります。

## JR相模本線の災害復旧と路線維持をめぐる情勢

本年度の表彰式を、11月3日、文化の日に自治功劳1名、産業功劳1名及び社会福祉功劳1名、永住功劳として、北落合地区1名、落合地区1名、幾寅地区19名、金山地区2名、下金山地区2名の25名を合わせ、28名の方々に表彰状の授与を行い、その功績をたたえたところであります。

■南富良野町表彰条例に基づく

平成3年から現在の制度になり、これまでに683名の方々が受賞されており、受賞者の皆様には、明治、大正、昭和、平成、そして来年5月には新しい年号となります。

象に「JR北海道の事業範囲の見直しに係る地域合同説明会」が開催され、国土交通省からは、先に方針を示したJR北海道に対する2年間の財政支援内容について説明があ

象に「JR北海道の事業範囲開  
の見直しに係る地域合同説明会」が開催され、国土交通省

9月第3回定例会以降の情勢についてでありますが、8月21日に開催された第3回目の6者会議においては、道や市町村が求めている具体的な負担軽減策について明言されないまま、次回への持ち越しとなつておりました。

担転減策についても「総務省と調整中」として踏み込んだ内容ではありませんでした。こうした国の姿勢に対し、高橋知事は「広大な北海道を他の都府県と同類に扱うのではなく、道内事情に合った新制度の構築をお願いしたい」と

鉄道網が重要な役割を果たしているものの、災害によりR根室本線の一部区間が不となり、地域を周遊するルートが断絶し、鉄道の利用促が期待される観光列車の実や鉄道を通じた地域活性化取り組みに支障をきたして

特別委員会の委員が出席し  
十勝・上川・釧路の3管内の  
町村会長がパネリストとなり  
「公共交通と根室本線の役  
割」をテーマとして意見交換  
がなされ「富良野」新得間は  
根室線をつなぐ背骨であり、  
ここが切れてしまうことは東

して、道や市町村の厳しい財政状況を考慮した負担可能な規模について要望し、またJR北海道からは、来年10月の消費税率10%への引き上げに合わせて運賃改定を行うなど、今後5年間の収支見通しが示されたところであります。

国からの具体的な支援内容が示されない中、10月24日か

ることから、鉄道網を基盤とした夢のある地域の将来像描くためにも、東鹿越新間の早期災害復旧について請を行つてきたところであります。

11月2日には、第2回目なる4路線の地域合同説明が開催され、10月20日の6協議の内容について説明が

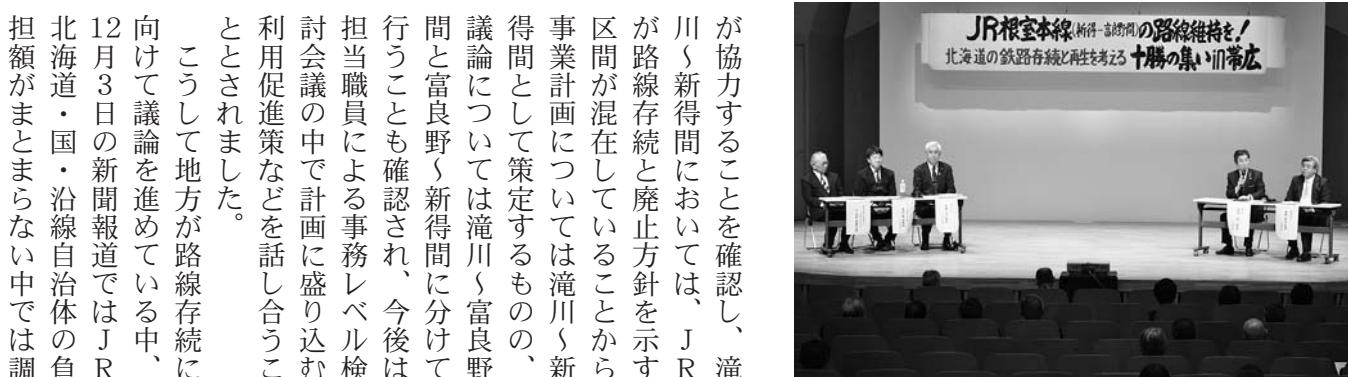
北海道全体に影響が出る」として鉄路存続と再生が訴えられました。

11月21日には、根室本線対策協議会の7市町村長による役員会が開催され、JRが国の監督命令に基づき策定する平成31、32年度の「第1期集中改革期間」における事業計画策定作業に対して各自治体

り、またJR北海道からは、  
国が求めている「コスト削減  
に取り組む行動計画」の策定  
に向け、自治体の協力につい  
て要請されたところでありま  
す。

ら26日にかけ、道東・道北域の6町村会長に私と新得長が加わり、JR北海道・海道・北海道運輸局に対し「道の利用促進に向けた不通行の早期復旧に関する要

り、出席した首長からは、国に対し自治体への財政支援の規模を早急に明らかにするよう求める声が相次ぎ、区間ごとの議論ではなく、北海道全体の交通網の将来像を求める



整が進まず、地方財政措置の年内制度設計を見送るとする国土交通省の方針が固まつたとの報道がされたところあります。

富良野・新得間の不通区間に於ては、災害復旧についての明確な言及がされないままとなつており、また単独維持困難とされている滝川・富良野間など8区間についても、国が沿線自治体への地方財政措置を見送る方針を固めたことで、厳しい財政事情を抱えが協力することを確認し、滝川・新得間においては、JRが路線存続と廃止方針を示す事業計画が混在していることから、滝川・新得間として策定するものの、議論については滝川・富良野間と富良野・新得間間に分けて行うことも確認され、今後は担当職員による事務レベル検討會議の中で計画に盛り込む利用促進策などを話し合うこととされました。

こうして地方が路線存続に向けて議論を進めている中、12月3日の新聞報道ではJR北海道・国・沿線自治体の負担額がまとまらない中では調ります。

## ■空知川南富良野町幾寅地区 地域連携防災事業報告会

平成28年8月の洪水による

甚大な浸水被害を踏まえた石狩川水系空知川河川整備計画

の変更が本年3月に決定され、変更計画に基づく事業が平成30年度から着手されたことにによる「空知川南富良野町幾寅地区地域連携防災事業報告会」が10月17日に開催されました。

報告会は、札幌開発建設部

空知川河川事務所主催で行わ

れ、北海道開発局、札幌開発

建設部、北海道、南富良野町、

空知川治水促進期成会、町議

会、幾寅地区自治会、南富良

野建設業協会、商工会などの

関係機関から28名が出席し、

計画洪水流量を毎秒1000

トンから1400トンに引き

上げる計画変更に基づき、堤

防や河道の必要な断面が確保

されない区間については、河

道への目標流量流下時の被害

軽減が図られるよう、河道掘削、堤防拡幅盛り土、無堤防

区間については堤防の整備について説明されました。

本庁及び関係機関と河川管理者が連携し、まちづくりや

防災等の地域計画と一緒にとした防災対策として、災害時の中防活動や災害復旧の拠点としての活用を図ること、さらには、市街地への氾濫被害軽減を図るため、既存道路については防災連続盛り土の整備を行う旨の説明がありました。

このほか、現地見学会では、堤防破堤箇所の復旧状況、今年度実施しております河道掘削現場において工事概要の説明を受け、報告会が終了しました。

本町といたしましては、災害に強い、安全・安心なまちづくりを目指し、河川整備を行っています。

## ■南富良野中学校部活動の結果 教育行政報告



### ■南富良野中学校部活動の結果

去る11月11日に富良野市において開催されました富良野中学校新人戦卓球大会において7チームが参加した男子団体戦において、南富良野中学校が日ごろの練習の成果を十分発揮され見事優勝し、12月27日から札幌市において開催されます、全国中学選抜卓球大会予選会に出場することになりました。南富良野中学校開校以来、初の卓球部団体戦の全道大会となりますが、大会に出場する選手は、自分の持てる力を最大限に発揮し、貴重な体験や交流を深めることができます。

## ■国民体育大会カヌー競技の出場結果

去る9月30日から10月3日まで、福井県あわら市において開催されました第73回国民体育大会カヌー競技に南富良野高等学校3年生男子2名及び女子1名、2年生男子1名及び女子1名、1年生女子1名の計6名が北海道代表として出場いたしました。成績は、

2年生女子が200メートル・500メートルシングルで4位入賞と表彰台まであと少しでありました。また、その他出場いたしました各生徒においても、準決勝まで進出し、日ごろの練習の成果を十分発揮し健闘いたしました。

男子3年生2名を含むチームが、予選リーグを1位と4位で通過し、決勝トーナメントに進出。その後ともに勝ち進み、決勝戦で対戦し、高校生2名が所属するチームが優勝、中学生2名が所属するチームが準優勝という素晴らしい成績を収めました。優勝した

チームは、来年1月3日から10日までフィンランドにて開催される世界ジュニアBカーリング選手権大会の出場権を得たところであります。世界の舞台においても臆することなく、日本代表として力を発揮され、将来のオリンピック選手へと羽ばたいていかれることを期待するところであります。

男子3年生2名を含むチームが、予選リーグを1位と4位で通過し、決勝トーナメントに進出。その後ともに勝ち進み、決勝戦で対戦し、高校生2名が所属するチームが優勝、中学生2名が所属するチームが準優勝という素晴らしい成績を収めました。優勝した

チームは、来年1月3日から

## ■カーリング大会の出場結果

去る11月20日から25日までの期間でJOCジュニアオリエンピックカップ・第27回日本

男子3年生2名を含むチームが、予選リーグを1位と4位で通過し、決勝トーナメントに進出。その後ともに勝ち進み、決勝戦で対戦し、高校生2名が所属するチームが優勝、中学生2名が所属するチームが準優勝という素晴らしい成績を収めました。優勝した

チームは、来年1月3日から10日までフィンランドにて開催される世界ジュニアBカーリング選手権大会の出場権を得たところであります。世界の舞台においても臆することなく、日本代表として力を発揮され、将来のオリンピック選手へと羽ばたいていかれる

チームは、来年1月3日から10日までフィンランドにて開催される世界ジュニアBカーリング選手権大会の出場権を得たところであります。世界の舞台においても臆することなく、日本代表として力を発揮され、将来のオリンピック選手へと羽ばたいていかれる

チームは、来年1月3日から

## ■少林寺拳法における全国大会出場

本町在住の高校2年生女子を勝ち抜いた3チームが、開催された長野県軽井沢町において開催され、北海道からは予選

本町在住の高校2年生女子3チームのうち、2チームには含むチームと南富良野中学校

本町在住の高校2年生女子3チームのうち、2チームには含むチームと南富良野中学校

本町在住の高校2年生女子3チームのうち、2チームには含むチームと南富良野中学校

本町在住の高校2年生女子3チームのうち、2チームには含むチームと南富良野中学校



## ■南富良野高等学校における進路状況

現在、卒業予定者22名中、進学希望者が11名で、全員が内定となっております。大学進学では、カヌー部に所属している生徒が日本体育大学へ、カーリング部に所属している生徒3名が特待生として道内

## ■イトウに関する環境学習

小・中・高等学校児童・生徒に対する環境学習についてあります。就職希望名の生徒が4年生大学へ、5名の生徒が専門学校へ進学予定となっています。就職希望者につきましては、11名中8名の内定となつてお

り、良野町出身の生徒が活躍することは大変喜ばしく思つており、今後さらなる活躍を期待いたします。

川の環境により生態系がどのように違うのか、さらに、河川内的人工構造物が魚類にどのような影響を与えるかなど、各学校及び学年によりテーマを定めて取り組んできたところであります。

また、11月10日に本町で開催されたイトウフォーラムでは、南富良野小学校4年生が代表して学習の成果を発表しました。

昨今、自然豊かな本町の特色を生かした学習を通じて、自然環境保全の重要性を認識するとともに、環境保全及び地球温暖化防止に貢献する人材育成を目指し、次年度以降についても引き続き取り組んでまいります。

# 委員会レポート

## 議会運営委員会

■議会運営委員会では、今後の議会のあり方についてを話し合つてきており、どのような議会の運営を推進し、住民皆様の要望にどのようにこたえていくかを引き続き話し合う中で、どのようなことがで起きるのかを検討することとしております。今後も委員会を開催し、あり方についてを話し合うこととしております。

(委員長 阿部 修二)

## ■財政シミュレーションについて

ここにきて交付税が3億ほど削減されてきている。

歳出については人件費はさほど増えていないが、起債の償還が9億ほどあり、この起債の償還と交付税の減額が、今の財政状況を悪化させている原因である。今後、起債残額を増やさない取り組みが必要であるとともに、財政目標指針として目標財政規模を30億から35億、5年間の削減目標を7億800万（単年度平均6%）と

したいと所管課から説明を受けた。

委員からは各課職員全員が財政状況を把握し、何を削れるのか取り組んで欲しいと意見があった。

所管課から説明を受けた。

学習サポー卜体制や意識の高さ、統一した学習規律の取り組みが感じられ、視察後は学習規律や学習改善に取り組んでいる。平成29年度の研修では教育セミナーに参加し、教員研修や意識改革を中心視察をした。本年度は外部講師

■町内小中高等学校について  
12月4日に学校訪問を行い、各学校での取り組みや職員研修の成果等について調査を行なった。

## ○南富良野西小学校

経営方針を5項目定めてい る。西小スタンダードを定め、補充学習として個人差のある児童への対応や、より伸びている児童には更に進めるよう取り組んでいる。道外研修に

ついては、先進校の学習スタイルを実際に観ることにより、今後の方向性等が決まつてた。

(委員長 大道 重治)

## ○南富良野小学校

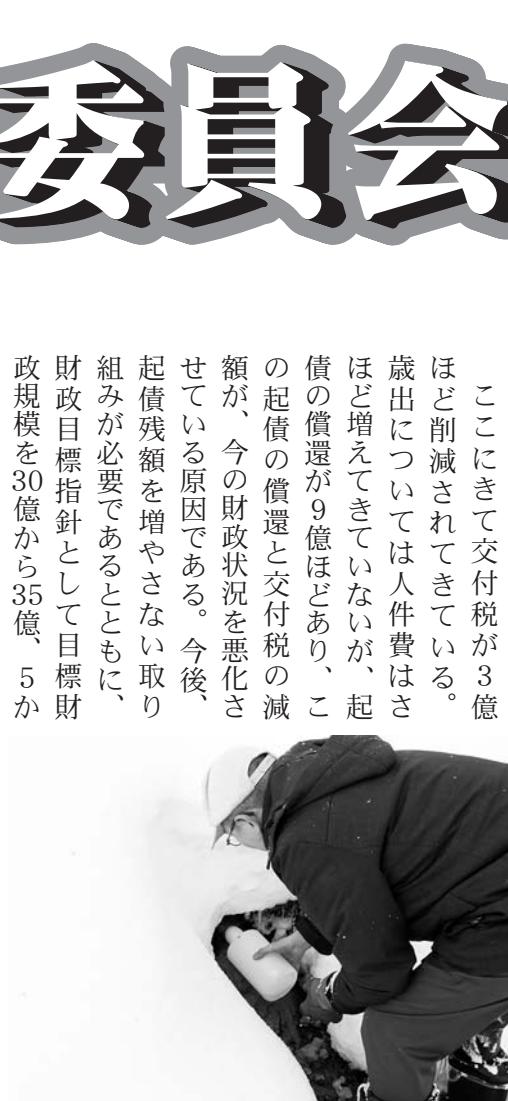
道外研修を行つたことにより学力に集中する意識が変わり、問題解決の方針であったり、そのスタイルをより確実に進めることになった。教室の環境としては、掲示場所の統一、放課後学習に力を入れてきて残る子が多くなった。家庭学習ノートについては質を高める取り組みを進めてい る。

## ○南富良野中学校

平成28年度の道外研修では、

■総合交通体系等調査特別委員会  
実施について

根室本線は、滝川～釧路を結ぶ道内最長路線であるが、それだけではなく道北(旭川)と道東(帯広)を結ぶ最短鉄路であり、最近の道内観光において、インバウンドにともに立ち、新得町議会、占冠



村議会と種々協議を行い、連携のもと北海道、北海道議会、JR北海道に早期復旧について要請活動を行つてきました。JR北海道議会の皆様には、根室本線は北海道の鉄路としての重要性をご理解賜り、早期復旧について、今後ともご努力をいただけるとの感触を得させていただいたと思つておりますが、JR北海道は、富良野～新得間はバス転換の域を現在も一步も出ていない状況にあります。

今後とも私共議会は新得町議会、占冠村議会と歩調を合

わせ、富良野市議会にも根室

本線と富良野線の存続が北海

道の鉄路にとつて、いかに重

要か理解いただき、協力いた

だけるよう要請し、道北と道

東を結ぶ重要路線としての位

置付けを中心、早期復旧に

向けてあらゆる機会を通して、

行政、議会一体となり住民の

皆様のより一層のご理解を得

る中で、要請活動を続けてい

く所存であります。

## ■旭川～十勝自動車道路の整備について

現在、本路線は富良野バイ

（委員長　酒井　年夫）

一定の方向を皆様にお示しす

るため取り組んでおります。

（委員長　酒井　年夫）

2. 飲食店や宿泊施設の現状について

討しております。今年度中にアの入り込み数は増加傾向で

業施設の出店にあたり諸条件が示されたのか、指定管理期

バスとしてのみ開通しておりますが、その前後については全く進んでいません。この旭川～十勝道路を幾寅経由で東道に結ばれるよう、占冠村議会に要請、協議させていた

31日の水害、そして今後もあり得るであろう冬期間の雪害に対して、幾寅、落合、北落合、東鹿越地区が陸の孤島化をなくすためにも必要であるとの判断から、先の長い話ではあります。今から努力が必要と判断し、要請活動を続け努力する所存であります。

○小清水町役場

道の駅・JR・加工施設を兼ね備えた複合施設である。

平成13年にインフォメー

ションセントラルとして開設（ビジターセンター＝観光協会）している。

モンベルストア誘致についてでは地方創生推進交付金を活用。平成28年9月に連携協定を結び、同年11月にはモンベルへ正式要請し、翌29年建設、平成30年4月オープンした。

1. 施設の概要、指定管理の状況

2. 隣接する商業施設誘致の経緯（モンベルショップ）

3. 出店による波及効果

○東川町役場

道の駅「古今伝授の里やまと」に隣接する「積水ハウスホテル建設計画予定地」について視察を行つた。

○岐阜県郡上市大和町

道の駅「古今伝授の里やまと」に隣接する「積水ハウスホテル建設計画予定地」について視察を行つた。

大和総合開発株式会社代表取締役社長水野正文氏から説明を受けた。

議会に要請、協議させていた31日の水害、そして今後もあり得るであろう冬期間の雪害に対して、幾寅、落合、北落合、東鹿越地区が陸の孤島化をなくすためにも必要であるとの判断から、先の長い話ではあります。今から努力が必要と判断し、要請活動を続け努力する所存であります。

○小清水町・東川町  
（11月5日～6日）

道の駅整備に関する道内先進地優良事例調査

（11月5日～6日）

道の駅整備に関する道外先進地優良事例調査

（11月26日～30日）



間の設定や管理運営内容及び管理経費はどのようになっているのか、オリジナル商品の展示販売はされているのか、商業圏域の実態についてなどの質疑があつた。行政視察後、両町の道の駅及びモンベルショップの視察を行なつた。



道の駅「古今伝授の里やまと」視察

このホテルは積水ハウスが外資系ホテルマリオットグループと業務提携、投資額は15億円で170名収容予定。地元への経済効果は開発工事関連、温泉入館売り上げ、飲食関連売り上げ、物販販売売上り上げ、観光施設利用売り上げ、除雪、メンテ経費、地代、三セク施設売り上げ予想、合計して、2億8900万円になると説明を受けた。その他

地元への経済効果は開発工事関連、温泉入館売り上げ、飲食関連売り上げ、物販販売売上り上げ、観光施設利用売り上げ、除雪、メンテ経費、地代、三セク施設売り上げ予想、合計して、2億8900万円になると説明を受けた。

リスク管理等では、SPC方式の開発であることを理解し、将来起こりうるリスクを予想する必要がある。ホテル開業後も運営会社と道の駅管理者が提携することがポイントとなる助言を受けた。

### ○富山県立山町役場

商工観光課竹山観光交流係

長から次のとおり説明を受けた。

研修項目としては

1. モンベルフレンドタウン

登録について

2. モンベルフレンドフェア

への参加について

3. 町への波及効果について

モンベルフレンドタウン登

録についてはスポートツーリズムの振興及び観光資源を活用した地域振興を目的として、山岳観光地として知られる中部山岳国立公園内の有料道路を自転車で登るアルペンヒル

年回開催した。この際、年

特別協賛となり大盛況に大会

が開催されたのを機にフレン

ドエリアに登録された。

モンベルフレンドフェア参

加については平成26～30年に

参加し、登山目的のお客様に

研修

創業者辰野勇氏が1969

年にアイガー北壁日本人第2

登を果たし、織維会社を経て、

28歳で山仲間二人と登山用品

○株式会社モンベル本社視察  
研修

創業者辰野勇氏が1969年にアイガー北壁日本人第2登を果たし、織維会社を経て、28歳で山仲間二人と登山用品



モンベル本社視察



モンベルビルレッジ立山視察

■平成30年度一般会計補正予算  
・道の駅を核としたまちの賑わい創出事業負担金  
1255万円  
道の駅内の商業施設等運営計画の策定事業費として追加するものです。

平成30年第3回  
臨時議会  
11月8日

# 議会の動き

平成30年11月～平成31年1月

- 11月 1日 ○富良野広域連合第2回定例会  
(富良野市)
- 2日 ○JR北海道地域合同説明会(旭川市)
- 3日 ○南富良野町功労者表彰式  
○南富良野町文化協会総合発表会
- 5日 ○道内先進地優良事例視察調査
- ～6日 (小清水町、東川町)
- 6日 ○北海道の鉄路存続と再生を考える十勝の集いin帯広(帯広市)
- 8日 ○南富良野町議会第3回臨時会  
○議会運営委員会 ○全員協議会
- 10日 ○南富良野西小学校学芸会
- 14日 ○決算審査特別委員会
- ～16日
- 16日 ○南富良野町敬老会 ○全員協議会  
○総合交通体系等調査特別委員会
- 20日 ○上川町村議会議長会臨時総会  
(東京都)
- 21日 ○町村議会議長全国大会(東京都)
- 22日 ○富良野沿線市町村議会議長会道外視察研修(埼玉県、茨城県)
- ～23日
- 23日 ○防犯と交通安全の住民集会
- 24日 ○旭川十勝道路「富良野道路」開通記念式・通り初め式・開通記念祝賀会  
(富良野市)

- 25日 ○天皇陛下御即位30年上川地方奉祝の集い(旭川市)
- 26日 ○道外先進地優良事例視察調査  
～30日 (岐阜県、富山県、大阪市)
- 12月 1日 ○南富良野ジユニアーリング大会開会式
- 4日 ○総務常任委員会 ○全員協議会
- 6日 ○全員協議会 ○議会運営委員会
- 12日 ○南富良野町議会第4回定例会
- ～14日 ○議会運営委員会 ○全員協議会  
○総務常任委員会  
○総合交通体系等調査特別委員会  
○決算審査特別委員会  
○議会広報特別委員会
- 1月 4日 ○消防出初式
- 7日 ○南富良野町新年交礼会
- 13日 ○南富良野町成人式
- 18日 ○商工会員新年会
- 19日 ○北口ゆうこう道議と語る新春の集い(士別市)
- 26日 ○自民党北海道第6区・旭川支部合同新春の集い(旭川市)
- 28日 ○沖縄県本部町交流団来町に伴う歓迎会

## 編集後記

お気づきの点やご意見・お問い合わせがございましたら、お気軽にお寄せください。  
(小出直由)

平成30年を振り返りますと2月に韓国で開催された冬季五輪において、本町出身の山口剛史選手が出場し、カーリング女子、男子共に活躍されました。明るい話題がありました。

一方、多くの自然災害として方で37年ぶりの記録的な豪雪。また、大型台風が次々と上陸し、9月6日には北海道胆振東部地震により41名の尊い命が奪われました。心よりご冥福をお祈り致します。また、道内全域停電(ブラックアウト)が発生する甚大な災害となりました。改めて平成の時代を振り返りますと昭和61年からのバブル景気が弾けて不景気となり、厳しい年月が長く続きました。また、自然災害も多発したように思います。

さて、5月には皇太子殿下が新天皇に即位し、新年号となります。私たち議会広報特別委員の任期も残すところ少なくなりましたが、これまで同様、皆様に分かりやすく伝わるよう努めてまいります。



議会広報特別委員会									
委員長	副委員長	小出直由	川村勝彦	阿部修一	川村勝彦	阿部修一	小出直由	川村勝彦	阿部修一
委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員
大道重治	金鹿野	酒井年夫	川村勝彦	阿部修一	川村勝彦	阿部修一	小出直由	川村勝彦	阿部修一
強	博	夫	直由	修一	直由	修一	直由	直由	修一